

年2回(1月・7月)発行

シルバー
連合会

いしかわ

第51号

令和6年1月発行



エアーフローラ

写真提供：石川県・エアーフローラプロモーション実行委員会

目次

シルバー連合会いしかわ 2024. 1 第51号

ごあいさつ

会 長 林 充 男	1
石川県知事 馳 浩	2
石川労働局長 長 嶋 政 弘	2

令和5年度の主要事業（令和5年7月～12月実施分）

経理研修会	3
労働者派遣業務担当者会議	3
石川労働局等への要請	3
4 専門委員会	4
令和5年度役職員研修会	4
グラウンド・ゴルフ大会	5
普及啓発促進月間活動	5
運転技能講習	6
第2回県内各センター事務局長会議及び安全対策協議会	6
安全パトロール	7
第3回理事会	7
理事長会議	8
安全就業担当職員会議	8
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	9・10
センター支援事業（連合会の独自事業）	10
衛生委員会 掲示板	11
県内の各シルバー人材センターの活動	12～17

表紙写真の説明

「エアリーフローラ」

「エアリーフローラ」は、石川県で8年の歳月をかけて開発したフリージアの新品種です。日本人の好みに合う中間色と全国でも類を見ないカラーバリエーションの豊富さが特徴です。2012年春に7色でデビューし、その後2017年に3色、2020年に1色追加され、現在11色となっています。

花は大きく、花びらの形は一重と八重があり、香りは甘いフローラルな中にスパイシーさもあって、それぞれ個性的です。花言葉は『希望』です。

（いしかわ百万石食鑑より抜粋・編集）



ごあいさつ

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会 長 林 充 男

はじめに、1月1日に発生した令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。併せて、被災地域の皆様の安全と健康の確保、そして、一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

今回の震災は、県内のシルバー人材センター事業に与える影響が甚大であり、事業の回復に多くの時間と労力を要すると思われるセンターも多くございます。これからは、シルバー事業関係者挙げての支援が必要であり、シルバー人材センター連合会としても、各シルバー人材センターと連携して支援に強く取り組んでまいります。

また、震災後、全国のシルバー人材センター事業の関係団体から温かいご支援、応援をいただいております。深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、経済状況や雇用情勢も回復し、シルバー人材センター事業についても、各シルバー人材センターの皆様の適切な対応と積極的な取組等のご努力により契約額等の回復や伸長等の明るい兆しが見えてきた中での今回の震災であります。

大変厳しい状況下ではありますが、震災からの復興とともに、シルバー事業の課題にも取り組んでいかなければなりません。

会員数の減少や会員の平均年齢の上昇、これによる業務のマッチングの難しさなどの課題、昨年10月から導入された消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）の現下そして将来に向けた対応が求められ、加えて、フリーランス新法の施行及び契約方法の見直しへの対応にも迫られています。併せて、これらの実施を進めていく上で業務の効率化は不可欠であり、デジタル化の推進も強く求められております。このように解決すべき課題は山積しております。

当連合会は、シルバー会員が生き生きと、就業、社会参加ができ、充実した生活が送れるように、また、シルバー人材センターが地域社会に更なる貢献ができますよう、地域のシルバー人材センターを支援するとともに、行政や関係機関等との連携を図りながら、積極的に事業運営を進めてまいります。

何とぞ、関係機関の皆様には倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、被災された皆様が一日も早く穏やかな通常の生活に戻られますようご祈念申し上げます。

ごあいさつ



石川県知事
馳 浩

はじめに、元日に発生した令和6年能登半島地震において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。県といたしましても、全力で被災地の復旧・復興と支援に取り組めます。

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

県では、昨年9月、石川県成長戦略会議及び5つの部会から頂いたご意見、県議会でのご議論や、県民の皆様からのご意見などを踏まえ、石川の新たな時代を切り拓く今後10年の羅針盤となる「石川県成長戦略」を策定いたしました。

「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」を基本目標に掲げ、「新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり」をはじめとした6つの戦略と「デジタル活用の推進」、「カーボンニュートラルの推進」という2つの横断的戦略のもとで、38の施策を盛り込んだほか、戦略ごとの14の主要目標と施策ごとの160のKPIを設定しました。

今年を「成長戦略実行元年」と位置づけ、具体の施策や数値目標の進捗状況について、新たに設置する石川県成長戦略「ミライカイギ」において、県内各地域の次代を担う方々からご意見を伺うこととしており、こうした取り組みを通じて、成長戦略の実行性を高めてまいります。

また、人手不足への対応については、ILACによる県内企業のマッチング支援を強化するとともに、就職促進イベントや合同企業説明会の開催などを通じて、誰もがそれぞれの希望に応じて活躍できるよう後押しし、高等教育機関と連携し、企業のリスキングを支援します。

このような中、高齢者の方々が活躍する機会を確保することは、地域社会の活力を維持するために重要であり、シルバー人材センターの役割は一層重要なものとなっており、県としても、引き続き支援してまいります。

被災地、被災者の皆様が早く震災前の日常を取り戻すことができるよう、また、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。



石川労働局長
長 嶋 政 弘

初めに、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震において被災されました全ての方々にお見舞いを申し上げます。石川労働局では、特別労働相談窓口の開設、災害時における特例措置などにより、被災地の支援に対応してまいります。

旧年中は、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の景況については、物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要があるものの、基調としては緩やかに持ち直しているとされております。

また、本県の雇用情勢については、観光関連産業等を中心に求人が相当数ある状況が続いており、全体としても、求人が求職を上回る状況が続いていることなどにより、令和5年10月の有効求人倍率は1.58倍となり、持ち直していると判断しております。

こうした中、わが国の少子高齢化は急速に進展しており、活力ある地域社会を維持していくためには、働く意欲のある高齢者が能力を発揮できるよう、活躍の場を維持・確保していくことが求められているところです。

このようなことから、シルバー人材センターには、その果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっており、地域における高齢者の就業の受け皿としての役割のみならず、生きがいやコミュニケーションの場として、地域社会の活性化にも貢献することが求められています。

石川労働局においては、年齢に関わりなくいきいきと働ける「生涯現役社会」の構築に向けて、貴会と連携を密にするとともに、70歳までの就業機会の確保に向けて、令和3年4月から施行された改正高齢者雇用安定法の趣旨や内容の周知・啓発、定年延長や継続雇用の導入等にかかる雇用環境の整備に関する相談・援助等の実施に努めてまいります。

結びに、被災された皆様、一日も早く日常に戻られることをご祈念申し上げるとともに、貴会及び会員の皆様の益々のご健勝とより一層のご繁栄を願い、ご挨拶といたします。

令和5年度の主要事業 (令和5年7月～12月実施分)

経理研修会

● 7月28日(金)〈石川県女性センター〉

県内センターの職員と連合会職員合わせて33名が参加し開催されました。衣目(ころめ)公認会計士・税理士事務所の衣目成雄所長(公認会計士・税理士)から「インボイス制度への対応並びにシルバー人材センターにおける会計上の留意事項」について説明をいただきました。

時間が延長される講義となり、熱心な質問・応答も行われ、濃い内容の研修会となりました。



衣目公認会計士・税理士事務所
所長(公認会計士・税理士) 衣目 成雄 氏



労働者派遣業務担当者会議

● 8月22日(火)〈石川県女性センター〉

県内18センターの派遣業務担当者と連合会職員合わせて27名が参加し開催されました。はじめに、石川労働局職業安定部の竹腰弘毅需給調整事業室長から「労働者派遣事業の適正運営」について説明をいただきました。

その後、連合会事務局から労働者派遣業務運営に係る説明を行った後、出席者全員による意見交換が行われました。



石川労働局職業安定部
需給調整事業室長 竹腰 弘毅 氏



石川労働局等への要請

● 8月23日(水)

令和5年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、8月23日、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。林充男会長、竹田由喜夫、藤勝好の両副会長、増田勉事務局長ほか、石川労働局、自由民主党石川県支部連合会、石川県庁、石川県町長会、石川県市長会を訪問しました。訪問先の皆様にご対応いただき、支援要請文の手渡しと、意見交換をさせていただきました。



長嶋 政弘 局長

林 充男 会長



土岐 祥蔵
商工労働部次長兼労働企画課長

林 充男 会長

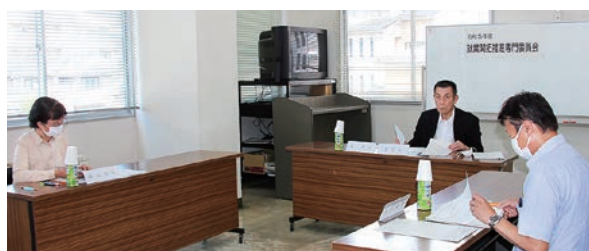
4 専門委員会

● 8月18日(金)・21日(月)・28日(月)〈連合会会議室〉

連合会に設置している就業開拓、交流研修、普及啓発、安全・適正就業の4つの専門委員会を開催しました。各専門委員会で、就任された委員が紹介され、林会長のあいさつに続き、各委員会の委員長の議事進行により協議が行われました。

【各専門委員会の審議内容】

- (1) 令和4年度事業実施状況について (2) 令和5年度事業計画について
(3) センターからの検討・要望事項について



【8/18 就業開拓推進専門委員会】



【8/21 交流研修専門委員会】



【8/28 普及啓発推進専門委員会】



【8/28 安全適正就業推進専門委員会】

令和5年度役職員研修会

● 8月30日(水)〈ホテル金沢〉

県内18センターと連合会の役職員47名が参加し、役職員研修会が開催されました。林会長のあいさつに続き、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の業務部長石原亘氏による「シルバー事業のデジタル化推進の必要性について」と題した講演が行われました。

引き続き、「県内各シルバー人材センターにおけるデジタル化の取り組み」について、研修参加者による意見交換が行われました。意見交換では、金沢市SC、野々市市SC、津幡町SC、加賀市SC、志賀町SCから、それぞれのセンターにおける取組状況の紹介等もありました。また、NRⅠ社会情報システム株式会社の天野孝志氏と土橋秀平氏から、全国の取組事例の紹介等があり、最後に、石原亘氏から助言をいただき研修が終了しました。

「デジタル化は避けて通れないし、その必要性も理解しているが、具体的にどのように進めて行けばいいのかわからない。」といったセンターが多い中、今後のデジタル化推進に当たり大いに参考となる研修会になりました。



公益社団法人
全国シルバー人材センター事業協会
業務部長 石原 亘 氏



NRⅠ社会情報システム株式会社
天野 孝志 氏



NRⅠ社会情報システム株式会社
土橋 秀平 氏



グラウンド・ゴルフ大会

● 9月28日(木)〈かほく市高松グラウンド・ゴルフ場〉

シルバー人材センター事業を広くお知らせするとともに、シルバー会員の健康増進と親睦をはかることを目的に実施している大会が今年も開催されました。

大会当日は、県下の各シルバー人材センターから、会員・役職員約150名が集まり、熱戦を繰り広げました。途中から雨が強まり、競技は中断され、18ホールまでの結果で入賞者を決定しました。入賞者の皆さんには、林会長から優勝トロフィーと賞品が手渡され、記念撮影をして無事終了しました。



男性の部

優勝：濱野 茂 さん (珠洲市SC)
2位：関戸 正彦 さん (かほく市SC)
3位：道下 吉信 さん (珠洲市SC)

女性の部

優勝：松下 美枝子 さん (志賀町SC)
2位：高井 美記子 さん (七尾市SC)
3位：源司 キミ子 さん (能美市SC)

普及啓発促進月間活動

● 10月1日(日)～10月31日(火)



県内のシルバー人材センターでは、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の期間中に、清掃、草刈り、剪定等のボランティア活動や周知・広報のチラシ・グッズの街頭等での配布など普及啓発活動を実施しました。

当連合会では、グラウンド・ゴルフ大会を開催したほか、入居ビル屋上から懸垂幕「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間 10月1日～10月31日」を掲示しました。

運転技能講習

● 10月13日(金)～11月14日(火)

労働者派遣事業において、スクールバスや福祉施設等の送迎などの人員輸送業務と、給食配送や広報誌などの物品輸送業務に従事している会員を対象に、事故防止対策の一環として、安全運転のスキル向上と安全意識の啓発のため、平成27年度から本講習を実施し、9年目となりました。

今年度の後期日程では、10月13日の能登町会場を皮切りに、県下10会場で開催し、88名が受講しました。前期日程（6月）の45名と合わせて、今年度は133名の受講となりました。

この講習では、受講者が「自動車運転技能自動評価システム（オブジェシステム）」を搭載した車を実際に運転し、その運転の「クセ」などの運転行動をドライブレコーダーとGPS（全地球測位システム）を使って定量的に測定します。そのデータを基にAからEまでの5段階で評価を行っています。

受講者一人ひとりに、自動車教習指導員から、診断結果の解説と運転技能の改善についての的確なアドバイスをしました。今後の運転業務に大いに活かされる講習となりました。



実地走行により一人ひとりの
運転データを収集する
(県立小松商業高校付近)



視力検査（夜間視力も検査）
(野々市市シルバー人材センター)



ドライブレコーダーの動画を見ながら
的確な診断とアドバイスを行う
(羽咋市シルバー人材センター)

第2回県内各センター事務局長会議及び安全対策協議会

● 10月23日(月)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、連合会事務局から次の項目について説明し、質疑応答を行いました。

第2回事務局長会議

- (1) 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- (2) 契約方法の見直しについて
- (3) その他

第2回安全対策協議会

- 令和5年度事故発生状況について
- グループ討議（意見交換）

二つのグループに分かれて、熱中症・ハチ刺され防止対策について、どのような対応を取っているか等について発言・意見交換をしていただきました。



安全パトロール

● 10月18日(水)・19日(木)

会員の就業現場の安全対応等の状況確認のため、連合会の安全・適正就業推進専門会委員長、副委員長、連合会職員及び巡回先センターの職員により、金沢市と能登町の2センターで実施しました。今年度も剪定及び草刈現場で傷害事故・賠償事故が多く発生していることから、安全防護具や脚立等の使用状況とともに、飛び石防止対応の器具・道具類が適切に使用されているかを確認しました。また、今年は猛暑日が続く中、熱中症対策の実施状況の確認と、複数人での作業の実施の呼びかけを重点的に行いました。

「剪定」10月18日(水)金沢市畝田にて



「草刈」10月19日(木)能登町小木地内の草刈現場にて



第3回理事会

● 12月15日(金)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、次のとおり議案審議・報告等が行われ、議案2件については承認されました。

【審議事項】

- (1) 令和5年度収支補正予算について
- (2) 理事の利益相反取引について

【報告事項】

- (1) 令和5年度代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告について
- (2) 国の令和6年度シルバー人材センター関係予算等について
- (3) シルバー人材センターにおける契約方法の見直しについて



理事長会議

● 12月15日(金)〈石川県女性センター〉



林充男会長のあいさつに続き、連合会から、シルバー人材センター事業に関する報告がされました。続いて、加賀市センターと七尾市センターの取組状況を発表していただき、そのあと、各センターにおける意見交換を行いました。

【内容】

- (1) 国の令和6年度シルバー人材センター関係予算等について
- (2) シルバー人材センターにおける契約方法の見直しについて
- (3) センター活動の充実・強化と会員増加に向けた取組について
 - ①センターにおける取組状況
 - ・公益社団法人加賀市シルバー人材センター
理事長 宮崎 護 氏
 - ・公益社団法人七尾市シルバー人材センター
理事長 藤 勝好 氏
 - ②意見交換
- (4) その他

安全就業担当職員会議

● 12月19日(火)〈石川県女性センター〉

ここ数年、会員の事故件数が高止まりとなっていることから、会員の事故防止に資することを目的に、今回、初めて、シルバー人材センター安全就業担当職員会議を開催しました。

17センターから、21名の参加がありました。

【内容】

- (1) 県内シルバー人材センターの事故発生状況
- (2) シルバー人材センターにおける安全就業について
(安全就業の手引より)
- (3) 全シ協 令和5年度 安全就業優秀賞・優良賞受賞シルバー人材センターの取組事例紹介
- (4) ビデオ「安全な草刈り作業のために」の視聴
- (5) グループ討議



高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

① 周知・広報

シルバー人材センター事業の周知・広報として、テレビCMのほか、新聞広告、自治体広報誌等での広告を実施しました。なお、自治体広報誌については、10月から新たに「広報あなみず」の広告掲載を始め、14市町の広報誌に広告を掲載しています。また、金沢、津幡、白山、小松、加賀の各ハローワークにおいて、定期的に出張相談会を実施したほか、高齢・障害・求職者支援機構石川支部主催の「令和5年度雇用に役立つ助成金等説明会」に参加して、事業所の人事担当者に対してシルバー事業を周知しました。



テレビCM「遺跡発掘編」



新聞広告（北國新聞テレビ欄下）



市町広報誌の広告 例：白山市

② 技能講習の実施

シルバー人材の登録・就業対象である60歳以上のシルバー未会員の方及び職種転換等を希望するシルバー会員に対し、必要な技能講習を実施し、入会及び就業の促進をはかっています。

技能講習の地域別開催状況

令和5年12月末日現在

	開催地域	開催数(回)	受講者数(人)	主な講習名
石川中央地	金沢市・白山市 野々市市・内灘町 津幡町・かほく市	6	66	剪定スタッフ講習、刈払機取扱い安全講習、遺跡発掘スタッフ講習、ラッピング講習
南加賀地	小松市・加賀市 能美市	6	58	剪定スタッフ講習、刈払機取扱い安全講習、クリーンスタッフ講習、キッズサポートスタッフ講習、建具張替えスタッフ講習
能登中部地	七尾市・羽咋市 志賀町・中能登町 宝達志水町	4	58	剪定スタッフ講習、刈払機取扱い安全講習、クリーンスタッフ講習、調理補助スタッフ講習
能登北部地	輪島市・珠洲市 能登町・穴水町	4	33	剪定スタッフ講習、クリーンスタッフ講習、調理補助スタッフ講習、水産物加工スタッフ講習
合 計		20	215	

※10月12日開催予定の「クリーンスタッフ講習」及び11月15日開催予定の「ケアサポートスタッフ講習」は応募者少数のため中止



七尾市「剪定スタッフ講習」



金沢市「遺跡発掘スタッフ講習」



能登町「調理補助スタッフ講習」

③ 就業体験の実施

就業体験は、シルバー会員でない方やシルバー会員で職種転換を希望する方等に対し、シルバー会員、企業等の協力を得て、実際の作業等についての体験や職場見学を実施するものです。

本年11月末現在で、55人（未会員22人、職種転換希望等の会員33人）に対し、剪定、清掃、球根植付け作業、施設管理等の就業体験を実施しました。このうち、未会員の体験者22人全員が新規入会しました。



かほく市「ぶどう収穫」



宝達志水町「エアリーフローラ球根植付け」

④ 連絡会議

令和5年11月9日(木)、石川県地場産業振興センターにおいて、「高齢者活躍人材確保育成連絡会議」を開催し、シルバー人材センター事業の課題等について、意見交換を行いました。

【出席いただいた機関・団体】

石川県商工会連合会、石川県中小企業団体中央会

日本労働組合総連合会石川県連合会、石川県退職者連合

石川労働局職業安定部職業対策課、石川県商工労働部労働企画課

センター支援事業（連合会の独自事業）

各センターの要望により、会員のスキルアップ（資格取得を含む。）や就業中の事故防止対策、そしてシルバー受託事業の主力となる業務の技術向上を図るため、技能講習（センター支援講習）を実施しました。

センター支援講習開催状況

令和5年11月末日現在

講習名	開催回数	受講定員総数
刈払機取扱作業安全衛生教育	5回	69名
剪定講習	2回	14名
接遇講習	3回	50名
計	10回	133名

今後、建具張替講習と機械メンテナンス講習を実施予定



剪定講習の実技実習
(七尾市シルバー人材センター)

衛生委員会 掲示板

牛乳について その5

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様 御変わりなく御元気で御活躍のことと存じます。

前は牛乳利用に関して理解を深めて頂く為に、牛以外の畜乳について書きました。今回から日本人が牛乳とどう係わってきたかについて書きますが、本題に入る前に牛乳生産に必要な条件について再確認しましょう。

《オーストラリア先住民の夢》

野生の植物、動物を採集、狩猟する生活から栽培、牧畜する生活への移行には、当然ながら栽培、牧畜に適した植物、動物が得られる環境が必要です。例えばオーストラリアの先住民は5万年以上前にユーラシア大陸から渡来したとされていますが、犬以外に家畜を伴っておらず、オーストラリア大陸には愛玩用は別として家畜化に適した動物が存在せず（北部領域に観られる水牛は19世紀に搬入された後に野生化したものです）、栽培に適した植物も存在しませんでした。その結果、彼らは幸か不幸か余剰食糧の蓄積による官僚団や軍隊の形成という方向には進まず、壮大な原野で狩猟と採集を続けつつ「ドリームタイム」として知られる独特の信仰と神秘的な音楽、絵画を創造しました。

《卑弥呼は牛乳を飲んだ?》

現在の日本国の領域で陸稲の栽培が始まったのは約6000年前とされていますが、オーストラリアより地理的に有利だったとはいえ家畜飼育の始まりは遅く、猪を家畜化した豚が弥生時代に飼育されていたことが明らかになっています。約2400年前と推定される弥生時代遺跡から農耕用と思われる牛の化石も発見されていますが、魏志倭人伝（紀元290年頃に書かれたとされています）に「邪馬台国には牛馬がない」とあるので、多数頭を飼育する牧畜は行われておらず牛乳摂取の習慣は無かったと考えるべきでしょう。この理由については本誌第47号でも触れましたが、稲作に適した気候、土壌、人力に恵まれていた邪馬台国では犁を曳かせる牛の必要性が低く、良好な牧草地の無い環境で人間が食べられる物を飼料としてまで牛乳を飲もうという意欲も湧かなかったと思います。残念ながら「唯一人の男子が給仕する」卑弥呼が、ほの暗い宮殿で静かに牛乳を愉しんでいたということは無さそうです。

《渡来人からの贈り物》

食用牛を多く飼育するようになった古墳時代以降、牛乳を飲む機会は常に有ったと考えるべきでしょうが、牛乳利用に関する文書の最も古いものは560年に智聡が伝えたとされています。智聡は百済に移住していた南朝梁の人で、戦乱の大陸を逃れ東の海に浮かぶ緑ゆたかな島に逃れ来たのかと思われませんが、仏典や仏像とともに薬書164巻を献上した本邦医学教育の祖とも言える人です。智聡の子息とされる善那は650年に孝徳天皇に「蘇」を献上し「和薬使主」という姓を賜ったと新撰姓氏録（815年）に有るそうですが、智聡の献上と90年も離れているので子息ではなく子孫ということでしょう。

「蘇」の詳細については次号で書きます。

お読み頂きまして誠に有難うございました。

県内の各シルバー人材センターの活動

県内各地域18のシルバー人材センターの様々な活動をご紹介します。

① 珠洲市シルバー人材センター

★普及啓発活動の実施

10月21日(土)のシルバーの日に、公共施設・宿泊施設の3か所と、市内(大谷地区)で、会員による除草や清掃、空き缶拾いなどを行い、10月31日(火)には、珠洲市役所前の剪定・雪吊りの奉仕活動を行いました。



★会員親睦会

10月26日(木)に国民宿舎やなぎだ荘で開催しました。4年ぶりの会員親睦会となり、温泉で温まり、美味しい料理にカラオケ、お楽しみ抽選会と大いに盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

② 輪島市シルバー人材センター

★グラウンドゴルフ大会

10月19日(木)、輪島市門前町道下でグラウンドゴルフ大会を開催しました。開催は4年ぶりとなり、秋晴れの下、楽しくプレーしました。久しぶりの大会で初めて参加する会員もいて会員間の交流も深まりました。



★ボランティア清掃活動

10月20日(金)、普及啓発促進月間の活動として、会員が市内7地区の公共施設周辺の除草清掃奉仕活動を行いました。また、10月27日(金)には、市内一斉清掃奉仕活動「ゴミゼロ運動」として、市内各事業所・団体と一緒にボランティア清掃活動に参加しました。両日とも雨の中での作業となりましたが、市内全域の美化に貢献しました。

③ 能登町シルバー人材センター

★メルカリShops

令和5年7月よりメルカリShopsを開設し、空き家等の家財処分作業で出た不用品の中から、まだ使えそうな物を販売しています。出品物の収集から、クリーニング・出品・梱包・発送までを会員が行うことにより、就業機会の拡大につなげるとともに、「リユース」の活性化を図り、ゴミの減量化及び循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。



★ボランティア美化活動

新型コロナウイルス感染症の拡大により自粛していたボランティア活動を4年ぶりに実施しました。街中のゴミ拾いを行い、町をきれいにするとともに、センター会員が生き生きと活動している姿を町民の方に見ていただき、センター事業の普及啓発を行うことができました。また会員にとっても、健康維持及び増進を図ることができ、今後の活力となりました。

④ 穴水町シルバー人材センター

★剪定・雪吊り技能講習会

剪定作業員の後継者育成のため、令和5年度も県立穴水高等学校のお庭をお借りし、10月17日(火)～19日(木)の3日間、講習会を実施しました。講師の先生の話に真剣に耳を傾け、今後就業につなげていけるよう真剣に取り組んでいました。



★門松の設置作業

例年、町庁舎、商店、施設等の門松の設置も請け負っております。数はまだ少ないですが、会員が資材調達から協力し作り上げる門松もまた見事です。

⑤ 志賀町シルバー人材センター

★普及啓発促進月間

10月5日(木)、会員の親睦交流と入会促進を目的として、志賀町シルバーハウスでグラウンドゴルフ大会が行われ、普及啓発用ポケットティッシュを配布しました。10月12日(木)には、大島そくさい会の消費生活出前講座で、また10月21日(土)シルバーの日には、志賀町老人クラブ会員の余



技展会場で、会員募集チラシとウェットティッシュを配布し入会を呼びかけました。また、例年通りシルバーの日を中心に指定管理施設とぎ地域福祉センター(とぎ温泉ますほの湯)において、来館者にポケットティッシュの配布も行いました。10月は例年以上に町内行事の状況を確認し普及啓発活動を行いました。会員用ではありませんが、公式LINEの運用にも着手しました。今後も様々な活動を通じてシルバーの輪を広げていきたいです。

⑥ 七尾市シルバー人材センター

★会員デジタル化計画

市役所×docomo×七尾市シルバー人材センターがタッグを組み、“会員デジタル化計画”推進中です。目指すは会員講師の育成!!第一目標は“スマホ操作の伝授”です。デジタル化は今後センターが重点的に取り組むべき分野だと思っています。最終目標はIT関連の就業開拓…会員講師の育成事業は今後も続きます。



★ウォーキング山の寺寺院群&ボランティア作業

今年から新しい試みとして、“七尾市の山の寺寺院群巡り&ボランティア作業”を行いました。ボランティアガイドは当センターの会員さんで、前田利家公の父母が眠る長齢寺をはじめ、沢山のお寺が立ち並ぶ寺院群を紹介して下さり、七尾市の歴史を知る良いきっかけとなり、大変好評でした。また、ウォーキング道中は、落ち葉掃き、ゴミ拾いなどのボランティア作業も兼ねて行い、町も心もリフレッシュできた良い1日となりました。

⑦ 中能登町シルバー人材センター

★男子禁制！女性会員の会を不定期で開催しています

女性会員の増加と親睦を図る“和多の会”と呼ばれる女性だけの集まりを年に3～4回開催しています。講師は会員さんで、主に手芸教室やスイーツ作り、たまにお茶をするなどをして、女性会員拡大に向け活動をしています。7月12日(水)に企画した和多の会は、hanareという隠れ家カフェで楽しくランチをしました。いわゆる“女子会”というものです。仲間だけのおしゃべりに花を咲かせながら、色々な情報交換をしました。



★お口は大切。口腔ケアの講習を開催

口周りの健康を崩すと、体の多くの不具合が連鎖的に出てきます。食事の楽しみが減り、家族との外食が減り人生の幸福度も下がります。それを予防するための講習会を11月12日(日)に開きました。参加者は当センターの会員中心に合計18名がオーラル・フレイル(口腔の弱体化の意)をテーマに、健康の大切さを勉強しました。総合病院の部長を講師に迎え、時には真面目に、時には面白く、飽きないトークでとても好評な講習でした。



⑧ 羽咋市シルバー人材センター

★ボランティア美化活動

10月6日(金)、普及啓発促進月間活動の一環として、ボランティア除草作業を実施しました。今年は、羽咋市役所にて敷地内の除草と落ち葉拾いを行いました。参加した会員の中には、普段から除草作業に従事している方も多く、手早く・手際よく作業をこなしていました。会員・職員合わせて36名が参加し、早朝から汗を流しました。



★4年ぶりに開催！「シルバースタはくい2023」

毎年11月に開催している当センターの普及啓発イベント「シルバースタはくい」。新型コロナウイルスの影響で令和2年度から開催を中止していましたが、11月19日(日)に4年ぶりに開催することができました。会員自家栽培の新鮮野菜や不用品即売市、ステージショーなどで会場は大賑わい。市内のテイクアウト飲食店“地球知足”様の自然栽培食材を使用し“サムゲタン”の販売も大盛況でした。

会員互助会の習字クラブと華道クラブの作品展示もあり、市民のみなさまにシルバー人材センターの活動をPRすることができました。



⑨ 宝達志水町シルバー人材センター

★エアリーフロア栽培(独自事業)

石川県オリジナルのフリージア栽培を始めて今年で4年目となり、冬期間の仕事としてや女性もできる作業として取り組んでいます。今年は24名(男性10名、女性14名)で、JA育苗ハウスに7種類の花を12月からの出荷に向け愛情をこめて育てています。町民の皆さんからも評判がよく、「フリージアの匂いが好きねん」「綺麗で長く咲くので楽しめるわ」とお褒めの言葉をいただいております。



★ボランティア活動

10月19日(木)、普及啓発促進月間に合わせ、「特別養護老人ホームちどり園」の敷地及び隣接する公園の剪定・除草作業を28名の会員で実施しました。当日は天候にも恵まれ、会員同士協力しながら段取りよく作業をこなしている姿が見られました。また、作業後に撮った集合写真も嬉しそうに写っていましたよ。



★普及啓発活動

10月29日(日)、シルバー事業の活動の内容を町民の方々に知っていただくため、町役場前において理事5名、職員4名がポケットティッシュの配布を行いました。

⑩ かほく市シルバー人材センター

★シルバーの日の街頭キャンペーン

10月21日(土)のシルバーの日に、会員・職員の26名で市内スーパーマーケット3店舗の開店に併せて、ウェットティッシュ・ポケットティッシュなどの配布や、シルバー人材センター紹介や入会の勧めの声掛けなど、普及啓発活動を行いました。



★かほくの芸術文化祭への出展

「いしかわ百万石文化祭2023」の開催に伴う、「かほくの芸術文化祭」(期間：10月28日(土)～29日(日))に、会員が一生懸命手がけた作品の展示や、かほく市シルバー人材センターの活動パネルの展示を行い、当センターの認知度の向上に努めました。

⑪ 津幡町シルバー人材センター

★スマホ教室

シルバー事業のデジタル化を推進するため、会員を対象にスマホ教室を開催しました。5月10日(水)、スマートフォンに興味をもつ会員18名が電話のかけ方や基本的な指の使い方・文字入力を学びました。

楽しい講座で、もっと勉強したいという声上がる一方で、自分の使っている機種と違うので分かりにくいとの声もあり、今後、継続した取り組みが必要であると感じました。



★交通安全講習会

11月9日(木)に、「高齢者交通安全講習会」が開催され、会員25名が受講しました。

津幡警察署 紙尾交通課長のユーモアあふれる講義のあと、4種類の機材を体験し、交通安全を再認識しました。参加者全員に交通安全協会から夜光反射材が贈られました。

⑫ 内灘町シルバー人材センター

★メーキャップいきいき美容教室の開催

11月16日(木)に、内灘町文化会館において、資生堂ジャパン株式会社様による美容教室を開催しました。会員・非会員合わせて13名が参加しました。メイクを落とし、美容液・化粧下地と順につけていき、プロに教わりながら、メイクを体感しました。健康長寿になるためのメイク方法を教えていただき、とても好評でした！今後も女性会員の拡大につながるイベントを企画していく予定です。



★講習会の実施

7月13日(木)に、当センターにおいて、接遇講習会を行いました。日々人と接する仕事に従事している会員等を対象に、接遇の必要性や基本マナーについて終始和やかな雰囲気の中、学ばず事が出来ました。

そのほかに、刈払機のメンテナンス講習会を実施するなど、今後も様々な講習会を実施し、会員の資質向上に努めたいと思います。

⑬ 金沢市シルバー人材センター

★手芸クラブ「ふわふわ会」

野々市市シルバー人材センター様の「手芸サークル」を視察、参考に当センターでも手芸クラブ「ふわふわ会」を立ち上げる運びとなりました。女性委員が中心となって、月に2回ほど開催しています。毎回テーマを決め、時折談笑も交えながら作成しています。立ち上げから半年以上経ち、趣味を通じて誰でも参加できる親睦の場として、少しずつ参加者も定着しています。将来的には、作品展の開催を目指しています。

★料理教室

地域社会との交流による普及活動の一環として、一般市民と会員を対象に「料理教室」を開催しました。



以前から好評だった「料理教室」ですが、コロナ禍により今回4年ぶりの開催となりました。青木クッキングスクール様のご協力のもと、「旬の食材を使って雑穀ガパオライスと薬膳スープのヘルシープレート」を調理しました。参加者には男性もみられ、市民と会員の相互交流ができました。



⑭ 野々市市シルバー人材センター

★普及啓発 ボランティア清掃

10月7日(土)～10月14日(土)普及啓発月間の活動としてボランティア清掃を実施しました。小学校付近の通学路や野々市駅周辺を除草清掃し、地域の方々にとっても喜ばれました。地区連絡会の活動は4年ぶりでしたが、3地区(1地区雨天中止)で36名参加し、会員間の交流も深まりました。

★Smile to Smile アプリ登録会

9月25日～数回に分けて、Smile to Smileアプリの登録会を行いました。自分で登録出来る会員もあり、1か月で60%超の会員がアプリを登録しました。今後アプリを積極的に活用していきたいと思います。



⑮ 白山市シルバー人材センター

★会員のためのスマホ教室の開催

シルバー人材センターのデジタル化の一環として行いました。多くの会員に参加いただき、LINEサービスやSmile to Smileの登録も行い、また質問もたくさん出たこともあって、スマホにおける関心度が高いと思い、実りのあるものになったと思っています。これからも会員のスキルに合わせた

教室を開催したいと思います。



★白山市福祉健康まつりに出展

普及啓発促進月間時、白山市福祉健康まつりにシルバー人材センターが出展しました。会員募集、仕事募集に加え、昨年に引き続き、普及啓発物品(ポケットティッシュ、チラシ等)を入れた新聞紙で作ったエコバッグが大変喜ばれました。

また、会員の活動写真(就業、ボランティア)を展示しました。

⑯ 能美市シルバー人材センター

★感謝祭

日頃のご愛顧に感謝して、11月19日(日)に、独自事業で生産している加賀丸いも、国造ゆず、家庭菜園で会員が丹精した野菜などを持ち寄り、市屋内競技施設「すぱーく寺井」で恒例の「感謝祭」を開催しました。夏の酷暑で野菜の確保が難しい中、多くの方々の協力を得ながらの開催となりました



が、前年の5割増しの来場者数を数え、大盛況となりました。特につきたて餅の無料配布では、行列を避けるため時間帯を分けて配り、餅つき体験をしたこどもたちが笑顔で受け取っていました。

特につきたて餅の無料配布では、行列を避けるため時間帯を分けて配り、餅つき体験をしたこどもたちが笑顔で受け取っていました。



⑰ 小松市シルバー人材センター

★スマホ講習会と会員アプリ登録説明会の実施

業務のデジタル化を推進するため、会員向けの「スマホ講習会」と「会員アプリSmile to Smileの登録説明会」を、6月29日(木)から7回実施しました。講師に小松市と包括連携協定を締結しているソフトバンク株式会社のスマホアドバイザーを迎え、スマホの使い方や会員アプリ登録について学びました。センターでは今後も講習会を定期開催し、年度内で全会員のアプリ登録を目指していく予定です。



★会員互助会「施設見学日帰りバス旅行」の実施

10月31日(火)に、コロナ禍により中止となっていた、会員互助会の親睦行事として「施設見学日帰りバス旅行」を4年ぶりに実施しました。

当日は、県立図書館や金沢港クルーズターミナル、大野からくり記念館の3か所を見学し、会員同士の親睦と交流を図りました。

⑱ 加賀市シルバー人材センター

★地区懇談会 (Smile to Smileの登録)

令和5年度の地区懇談会は「Smile to Smile」の登録に特化した内容で実施しました。従来は市内3か所で開催していたものを、市内4か所7回に分けて開催し、会員のスマホに「Smile to Smile」を登録していただきました。12月末までに約200名の登録が完了する予定であり、登録した会員には配分金の通知も「Smile to Smile」で送っています。今後も積極的に登録者を増やし、センターと会員のデジタル化を進めてまいります。



★元気まつり

地域貢献活動の一環として、5月と11月に「元気まつり」を開催しています。レストランさくらの弁当販売、元気市の野菜販売、役員を中心につきたて餅の販売などを行い、多くの方に来場いただいています。また、11月の開催では地元水産業者の協力を得て、解禁間もないカニの販売も行い、賑わい創出に努めています。

仕事も遊びも
自分流。

選ぶ方は
無限大

シルバー人材センター

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ:<https://ishikawa-silver.com>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからご覧いただけます。

